みやぎ県議会だより

令和７年
２月定例会特集
第154号

編集・発行　宮城県議会企画広報委員会
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL 022(211)3592　FAX 022(211)3598

防災アプリ登録55万人

防災力向上に大きな成果

第395回宮城県議会（2月定例会）は2月12日～3月14日の31日間の日程で開かれた。総額1兆2265億円の2025年度一般会計当初予算や、宿泊税基金条例など77議案を可決・同意したほか、議員提出の発議7件と意見書4件も可決した。代表・一般質問では災害・防災分野や教育、土葬墓地設置について議論が繰り広げられた。

２月定例会の本会議

東日本大震災の発生から14年になるのを前に、防災・復興分野を巡って積極的な論戦が展開された。

政府が2026年度中の新設を目指す防災庁について、議員は「巨大災害リスクや関東圏一極集中を避ける意味でも、東北・県内に誘致してはどうか」と提案した。知事は「仮に東日本大震災の人的被害が一番大きかったわが県に設置されるとすれば意義深い。防災庁の機能や役割を含む防災体制の強化について、国の動向を注視していく」と述べた。

県の防災アプリ「みやぎ防災」に関して、議員は「アプリ普及のため、ポイント付与キャンペーンを実施しているが、これまでの成果はどうか」と尋ねた。知事は「みやぎ防災アプリの登録者が約55万人、ポケットサインアプリで約59万人と、当初の目標の20万人を大きく上回っている。防災力の向上に加え、地域経済活性化の点からも、非常に大きな成果を得られた」と強調した。

議員が「みやぎ防災アプリは、マイナンバーカードを持たない県民でも利用できるようにすることが肝要だ」とただすと、復興・危機管理部長は「マイナンバーカードの基本4情報に基づく正確な情報を通じて、避難指示や避難所受付等の機能を運用する点が大きな特長だ。更なる啓発に予算を活用していく」と答えた。

議員は避難所について「どのように備蓄や施設環境を充実させ、市町村間格差を解消していくのか」と質問すると、復興・危機管理部長は「国の『新しい地方経済・生活環境創生交付金』の活用を促し、避難所環境の充実を支援している」と説明した。

議員は、東北電力女川原発（宮城県女川町、石巻市）の5～30キロ圏のUPZ内の在宅避難行動要支援者を受け入れるための福祉避難所の収容能力について質問。保健福祉部長は「避難先自治体のみで対応が困難な場合は、県災害対策本部で県内の他市町村等と必要な調整を行う」と回答した。

平和学ぶ機会設置を

教育長「フォーラム開催検討」

今年戦後80年を迎えるに当たり、議員は「平和に対して行動できる人材育成のため、正しい歴史認識の下で教育する機会を設けてはどうか」と提案した。教育長は「県立高校では、過去の戦争や国際平和について知識として学習するだけでなく、生徒自らが課題解決のために探求する活動にも取り組んでいる。今年は高校生同士が平和をテーマに話し合うフォーラムの開催も検討している」と前向きに答えた。

少子化に伴い小中学校の統廃合が進んでいる現状について、議員は「県こども計画（仮称）における地域子育て支援などから乖離している」と強調した。教育長は「家庭・地域・学校による協働体制の更なる充実や、家庭教育を支援する地域人材の育成などに努め、環境づくりを支援していく」と答弁した。

学校現場で保護者からのクレームが深刻化していることを受け、議員は「専門窓口の設置やカスタマーハラスメント（カスハラ）対策ガイドラインの策定を進めるべきだ」と求めた。教育長は「保護者対応については、一部の教員のみに任せるのではなく、管理職を含めた組織的な対応を推進している。スクールロイヤーや顧問弁護士による相談体制も整えている」と述べた。

議員が「SNS（交流サイト）に起因する犯罪に巻き込まれる子どもたちを減らすには、リテラシー向上を図る教育が必要であるが、現状はどうか」と尋ねると、教育長は「教員向けの『メディアとのつきあい方ガイドブック』や動画教材『60秒情報モラル』を作成するなど、教員の指導力向上を図るとともに、児童生徒のリテラシー向上に努めている」と説明した。

4病院再編 東北労災病院移転

協議長期化に危機感

県が進める仙台医療圏の4病院再編を巡り、議員は「東北労災病院（仙台市青葉区）移転に関する協議の長期化で、医師の退職や患者離れが起きている。一旦白紙に戻し、救急医療や地域医療の課題を整理すべきだ」と強調した。知事は「現在、労働者健康安全機構で労災病院グループ全体の経営状況を踏まえた検討が行われており、年度をまたぐことも想定されるが、その状況を確認しながら協議を継続していく」と述べた。

県立精神医療センター（名取市）の建て替えに関し、議員が「用地選定の基準とそのプロセスはどうか」と尋ねると、保健福祉部長は「それぞれの候補地について、土地の形状等を踏まえた有効面積の確保や土地利用規制、建築制限の状況などの比較検討が必要だと考えている。詳細な分析を行いながら用地を選定する」と説明した。

国が進める医療費の支払いを抑える「高額療養費制度」の見直しについて、議員は「治療を諦める状況を生み出す懸念がある」と見解を求めた。知事は「さまざまな声に配慮し、可能な限り幅広く合意形成を図った上で、全ての世代の保険料負担が軽減される制度の見直しが必要であると認識している」と答えた。

過疎地域集落の農村づくり推進

農林分野でも活発な議論が行われた。過疎地域集落での農村計画について、議員は「コミュニティーが維持できるうちに集団移転しながら自然環境を次世代に引き継いでいく積極的な撤退を政策に組み込むべきだ」と強調した。農政部長は「関係機関と連携し、地域計画の実現に向けた継続的な話し合いに加え、農村型地域運営組織（農村RMO）の形成や関係人口創出に向けた取り組みを支援し、持続可能な農村づくりを推進していく」と答えた。

議員は県の米政策について「カントリーエレベーターの老朽化といった課題への支援策はどうか」と尋ねた。農政部長は「国の事業を活用し、県内のカントリーエレベーターを運営するJA等の要望に応じた老朽化施設の改修や機能強化を支援する」と述べた。

水産分野では、議員が「内水面漁業振興のための指針を示すべきだ」と求めた。水産林政部長は「来年度に水産基本計画の中間見直しを行い、関係者のご意見を伺いながら、振興策を検討し、反映していく」と答弁した。

受け入れ先は？進め方は？環境への影響は？

土葬墓地設置 懸念相次ぐ

知事「在り方やニーズを調査」

土葬墓地の設置検討について、懸念の声が相次いだ。議員は「市町村の許可がなければ設置はできないが、受け入れ先があると考えているのか」と疑問を投じた。知事は「既に許可を受けている墓地に土葬の区画を設ける場合など、許可が必要ない場合もある。整備・運用方法については、公営だけでなく、宗教法人等による設置などさまざまな形態が想定されることから、その在り方について現在調査している」と説明した。

議員は現在の検討状況や今後の進め方について質問。知事は「県に対して多くの意見や問い合わせがある。土葬に関するニーズの把握や埋葬方法、墓地の整備・運営方法などについて調査を行っている」と述べた。

議員は「土壌や水質に及ぼす影響の有無を心配する声が非常に多い」と踏み込んだ。知事は「現在行っている調査では、土葬墓地が周辺環境の土壌や水質に影響を及ぼした事例は、これまで確認されていない」と理解を求めた。

土葬可能な墓地の検討について、議員は「大多数の県民とムスリム（イスラム教徒）関係団体の双方で受け入れ可能な案があるのか」とただした。知事は「関係団体の意見のほか、市町村や地域住民の意見も重要であると認識している。引き続きしっかりと調査し、課題等を整理していく」と答えた。

可決した発議＜7件＞

○県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
○宮城県がん対策推進条例
○みやぎ食と農の県民条例の一部を改正する条例
○宮城県議会会議規則の一部を改正する規則
○宮城県議会会議規則の形式を左横書きに改正する規則
○情報通信技術を活用した宮城県議会の活動の推進に関する条例
○宮城県議会の保有する個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

可決した意見書＜4件＞

○食料の安定供給及び食料自給向上に向けた対応強化を求める意見書
○ガソリン税等の引下げを求める意見書
○遠洋かつお・まぐろ漁業の国際競争力の強化、適正な資源管理及び経営安定に向けた支援を求める意見書
○旧姓の通称使用の法制化を求める意見書

可決・同意した知事提出議案＜77件＞

○令和７年度宮城県一般会計予算
○令和６年度宮城県一般会計補正予算
○循環器病対策推進協議会条例
○一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例
○宿泊税基金条例
○職員定数条例の一部を改正する条例
○附属機関の構成員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
○学校給食に関する事務の委託の変更について
○包括外部監査契約の締結について
○令和７年度市町村受益負担金について
○工事請負契約の締結について（宮城県地域衛星通信ネットワーク改修工事）　他

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

議決した議案等

質問者と主な質問項目

○**代表質問**（3人）
▽**佐々木賢司**（自民）宮城県の人口減少、少子化対策について、宮城県の諸課題について▽**坂下賢**（県民の声）いわゆる「村井流」の政治手法について、水産業振興について　他▽**天下みゆき**（共産）4病院再編について、女川原発の乾式貯蔵施設について　他

○**一般質問**（16人）
▽**菊地恵一**（自民）大崎市立おおさき日本語学校について、台湾との教育旅行推進について　他▽**伊藤和博**（公明）宮城の子ども・子育てについて、医療提供体制の確保について　他▽**わたなべ拓**（自民）道路陥没事故等について、ムスリム土葬について　他▽**平岡静香**（県民の声）多文化共生推進事業について、いじめ防止対策推進条例について　他
▽**松本由男**（自民）国民保護、防災・減災、国土強靱化、県民の拉致問題の早期解決について　他▽**かっち恵**（立無ク）4病院再編計画の課題について、女川原発避難計画の課題について▽**村岡たかこ**（自民）仙台医療圏の今後について、児童生徒の学校生活充実について　他▽**熊谷二平**（自民）ひきこもり支援について、地方創生2・0と地方自治について　他
▽**荒川洋平**（県民の声）宮城の花卉（かき）産業について、情報モラル教育について▽**遠藤伸幸**（公明）地方創生と人口減少対策について、アレルギー疾患対策について　他▽**小野寺健**（維新）地方分権と行財政改革について、少子化対策・高齢者対策について　他▽**高橋克也**（自民）これからの観光戦略について、令和7年度の県政運営について　他
▽**渡辺重益**（自民）東日本大震災からの復興について、市町村連携について　他▽**佐藤仁一**（県民の声）一般廃棄物と産業・災害廃棄物等の処理、県内の農林水産業の抱える課題　他▽**村上智行**（自民）建設産業の持続的な維持・発展について、米価高騰と本県の米政策について　他▽**金田もとる**（共産）安心・安全の県政を目指して、「県民の視点に立って考えること」

〈会派名略称〉
自由民主党・県民会議（自民）、みやぎ県民の声（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団（共産）、公明党県議団（公明）、立憲・無所属クラブ（立無ク）、日本維新の会（維新）、21世紀クラブ（21世紀ク）

予算特別委員会

２月28日および３月４日に、総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、物価高騰への対応および介護職員や保育士等の処遇改善支援に要する経費などを計上した令和６年度補正予算を可決した。

また、人口減少局面における地域経済社会の持続性確保などを目的として、五つの「政策推進の基本方向」に基づき編成された令和７年度当初予算を可決した。

質疑者　村上久仁、横山隆光、八島利美、杉原崇、菊地忠久（自民）、三浦ななみ、小畑仁子（県民の声）、三浦一敏（共産）、横山のぼる（公明）、熊谷義彦（立無ク）、阿部眞喜（21世紀ク）、小野寺健（維新）、中島源陽（無所属）

常任委員会

○総務企画委員会
職員定数条例の一部を改正する条例、附属機関の構成員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例、職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例、職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部を改正する条例、県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例など16議案

○環境福祉委員会
循環器病対策推進協議会条例、一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例、子育て支援対策臨時特例基金条例の一部を改正する条例、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例、障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例、宮城県がん対策推進条例など10議案

○経済商工観光委員会
宿泊税基金条例、産業技術総合センター条例の一部を改正する条例、緊急雇用創出事業臨時特例基金条例の一部を改正する条例の３議案

○農林水産委員会
家畜伝染病予防法施行条例の一部を改正する条例、令和７年度市町村受益負担金について、工事請負変更契約の締結について（宮城県仙台家畜保健衛生所改築工事）、令和６年度市町村受益負担金について（関係分）、みやぎ食と農の県民条例の一部を改正する条例の５議案

○建設企業委員会
手数料条例の一部を改正する条例、宅地建物取引業法施行条例の一部を改正する条例、建築士法施行条例の一部を改正する条例、都市計画法施行条例の一部を改正する条例、県営住宅条例及び特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例など10議案

○文教警察委員会
学校給食に関する事務の委託の変更について、学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例、工事請負変更契約の締結について（宮城県美術館改修工事）の３議案

議長記者会見

２月定例会中の３月４日、髙橋伸二議長が記者会見を行った。

２月定例会を中間で振り返り、髙橋議長は「人口減少・少子化対策関連や土葬、投票率の向上について、多くの議員が議論を交わした」と総括した。

「議員報酬等に関する条例」が一部改正されたことについて「全会一致には至らなかったが、私としては、審議会からの答申を尊重すべきと判断した。県民からの負託にしっかりと応えられるよう努める」と語った。

髙橋伸二議長

「宮城県がん対策推進条例」について、髙橋議長は「がんで亡くなることを防ぐには、予防の意識、早期発見と早期治療が重要だ。がんになっても安心して生活できるよう、医療面のみならずさまざまな面から日常生活を支えていくことが求められている。県全体が一体となってがん対策が一層推進されることを期待する」と強調した。

議場コンサートの開催にも言及し「当日はこれまでの約３割増の180人の方々にお越しいただいた。普段の傍聴者は10人から20人程度だったが、コンサート後は72人もの方々の本会議の傍聴があった。傍聴者数の増加につながり、大変良かったと感じている」と振り返った。

県議会からのお知らせ

●県議会コンサートのご案内
◇次回コンサートの開催予定
詳細については、以下ホームページをご確認ください。
https://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/concert.html

●傍聴のご案内
本会議の傍聴について、傍聴を希望される方は、当日、議会庁舎１階にある傍聴受付へお越しください。
各委員会の傍聴について、傍聴を希望される方は、当日、議会庁舎１階ロビーへお越しください。
詳細については、022(211)3571（総務課）までお問い合せ下さい。

みやぎ県議会だより　検索

●ウェブ版みやぎ県議会だより
県議会をより身近に感じていただけるよう、写真を多く取り入れております。

宮城県議会　検索

●県議会ホームページのご案内
定例会の日程や会議録等をご覧いただけます。

宮城県議会中継　検索

●議会中継のご案内
インターネットで議会中継や録画映像をご覧いただけます。